

2014年3月6日

AGCの建築用ガラスが大阪「あべのハルカス」に採用 ～外装に使用された当社合わせガラスが日本一*1の超高層ビルの安全性に貢献～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）の建築用ガラスが、日本一*2の高さを誇る大阪市阿倍野区の超高層ビル「あべのハルカス」（高さ300m）に採用されました。

2014年3月7日にグランドオープンを迎える同ビルの外装は、全て当社の合わせガラスを使用。オフィス階及びホテル階の室内側には、当社のエコガラス*3が採用されています。

AGCは内側・外側の両面からビルの安全性と快適性に貢献します。



安全性と快適性に貢献するAGCのガラス製品

*ビルの外装：合わせガラス

2枚のガラスの間に粘着性の高い中間膜を挿入することで、万が一割れても破片が飛散・落下しにくい安全性の高いガラスです。

*オフィス・ホテル階の室内側：エコガラス

2枚ガラスの間に空気の層を設け、特殊金属膜を塗布したガラスです。断熱／遮熱効果に優れ、季節を問わず快適な室内環境を提供します。

今回の製品提供は、AGCグラスプロダクツ社とタイのAGCフラットガラス・タイランド社との連携の下に実現しました。

AGCは今後も「ALL AGC」の取り組みを通じて、安全で快適な暮らしを支える高付加価値製品の開発・提供を促進していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：AGC旭硝子（株）広報・IR室長 小林 純一
（担当：駒崎 TEL：03-3218-5603 E-mail：info-pr@agc.com）

◎商品に関するお問い合わせ先：ガラスカンパニー カスタマーセンター
（ナビダイヤルTEL 0570-001-555）

*1 及び 2 2014年3月6日現在の情報

*3 エコガラスとは、板硝子協会の会員である旭硝子(株)・日本板硝子(株)・セントラル硝子(株)の3社が製造するLow-E複層ガラスのうち、レースのカーテンだけで、次世代省エネ基準を満たすことができる製品の共通呼称。板硝子協会の「エコガラス」ホームページ：<http://www.ecoglass.jp/>

【ご参考】

あべのハルカス

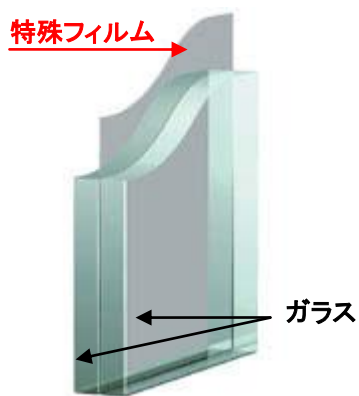
大阪市阿倍野区の超高層ビル。地上300mと高さ日本一*の超高層複合ビルで、オフィススペースの他に、あべのハルカス(百貨店)、大阪マリオット都ホテル、あべのハルカス美術館、ハルカス300(展望台)で構成される。あべのハルカス近鉄本店のタワー館部分は2013年6月に先行開業。全館グランドオープンは2014年3月7日。

URL: <http://www.abenoharukas-300.jp/>

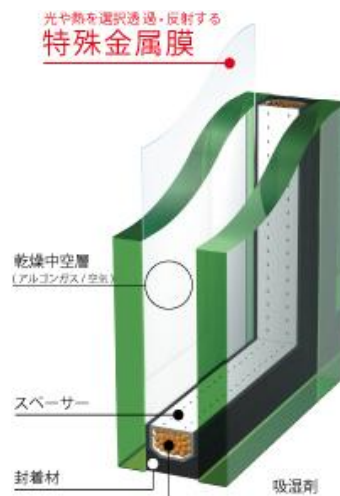
(*本リリース発表時の情報)

AGCガラス製品図解

合わせガラス



エコガラス(Low-e 複層ガラス)



以上